

### 第3回あわら市行政改革等推進委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成29年1月27日(木) 10:00～12:00
- 2 場 所 あわら市役所202会議室
- 3 議 題 ・第2次あわら市行政改革大綱実施計画実施状況  
・第3次あわら市行政改革大綱（案）
- 4 資 料 ・第2次あわら市行政改革大綱実施計画実施状況
- 5 出席者 委員：桑原美香、達川昌美、富田毅矩男、佐孝修彦、牧田きさ代、大宮健司  
市：佐藤雅美（総務部長）、小嶋範久（政策課長）、山口功治（政策課長補佐）、  
赤神貴幸（政策課主査）

#### 6 会 議

- ・会長あいさつ（要旨）

今回の会議でも、あわら市に対する熱い想いをお聞かせ願いたい。

- ・議事

**会長** 第2次あわら市行政改革大綱実施計画実施状況について、事務局の説明をお願いします。

**事務局** （第2次あわら市行政改革大綱実施計画実施状況の説明）

**会長** ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

**委員** 各地区には様々な祭りがあるにもかかわらず、劔岳かりんて祭のみ優遇されているのではないか。

**事務局** 合併時に対外的に発信できるイベントとして、旧金津町時代から続いていたかりんて祭が採用され、バックアップすることとなった。

**委員** 北潟湖畔観月の夕べは今後内容を見直すのか。お茶席がなくなったことや、有料シャトルなどに対する不満がある。

**事務局** 平成28年度から観光商工課に移管し、観光面に特化した内容となった。内容の是非について疑問の声も上がっており、地元との協議をしながら今後の運営について再考していく。

**委員** 「観月の夕べ」とは言うが、中秋の名月の日にやっていない。名称を変えるべきではないか。

**事務局** 観光誘客の観点から、8月末に行った。名称については、「観月の夕べ」という名前が親しまれていることから、変更に至らなかった。

**委員** あわら市の祭として、金津まつりと湯かけまつりのどちらを重んじているのか。

**事務局** どちらかを重んじているということはない。金津まつりは金津神社の祭礼であり、市が関わるものではない。湯かけまつりは市民組織が実施しているものであり、市としては補助金を出している。ただし、金津まつり及び芦原温泉春まつりについては、人形山車の制作補助は出している。

**委員** 市のスポーツはカヌーなのか。

**事務局** 旧芦原町技はカヌー、旧金津町技はバレーボールであった。合併後、あわら市の競技

を検討したが、決定には至らなかったため、あわら市のスポーツというものはない。

会長 イベントの合併などは可能か。

事務局 隔年開催にする、あるいはイベントの複合化を調整してはいるが、上手くいかず、あらたなイベントも増えている。

委員 観光協会へのイベントの委託が増え、負担が大きくなってきているが、他に受け皿となる団体もない。ほとんど市から委託された事業を行う機関となっており、自主事業を行う余力がない。抜本的な見直しが必要ではないか。

事務局 イベントの見直しとともに、安易な委託についても削減を図り、自主的な運営ができる環境づくりをしていきたい。

委員 セントピアあわらなど外部委託しているものについては、なるべく市内団体や市内事業者への委託が望ましい。

事務局 セントピアあわらの指定管理業者については、市内外問わず民間業者に対して募集し、プレゼンテーションの内容によって決定した。契約期間が終わる2年後に再公募することになる。

委員 職員の採用について、いわゆる「コネ入社」のようなことはあるのか。

事務局 正職員、任期付職員ともにそのようなことは一切ない。学科試験と面接によって決定する。

委員 自動販売機について、福祉団体からの申請で設置しているものはいくつあるのか。

事務局 市庁舎に1台設置されているほか、市内各施設に数台設置されている。「母子及び父子並びに寡婦福祉法」において、母子福祉団体から申請があった場合に公共施設に設置を許可するようという定めがある。これに基づき、旧町時代からそれら団体の申請があった自動販売機を設置してきた。しかし、自治体の財政改革を進めるうえで自動販売機の入札制度を取り入れるべきであるという議論から、多くの自治体が入札による決定を行っている。あわら市においても導入を検討したが、既得権益の関係で実現に至らなかった。

委員 職員が駐車場でたばこを吸っているが、印象が悪い。

会長 第3次あわら市行政改革大綱（案）について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （第3次あわら市行政改革大綱（案）の説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 今後1、2年の予算の組み方が重要である。

事務局 平成29年度当初予算では、財政調整基金の取り崩しを見込んでいる。北陸新幹線や国体などの大事業が続くため、慎重な財政運営が重要となる。

委員 議員の定数削減を行うべきではないか。

事務局 議会の中からそのような議論が出ない限りは困難である。

委員 少数精鋭の議会が望ましい。

委員 職員の生産性を示す数値を入れてほしい。

事務局 第2次計画策定時ではあわら市は生産性ランキング全国17位であった。近年のランキングを調査し、記載したい。

会長 第2次大綱からあまり変化がないが、意図して変えていないのか。

事務局 財政面で変革できる部分が少なくなってきており、行政サービスの改革が中心になってきた。また、改革方針が第2次とほとんど変わっておらず、今までの計画をより効果的に進めることに重きを置いているため、第3次大綱は大きく変わっていない。ただし、実施計画上では、より高い目標を設定する。

会長 今後新たな枠組みで行う事業もあると思うが、クラウドファンディングのような新しいものを取り入れていこうという印象がない。

事務局 クラウドファンディングについては、実施計画に記載する予定である。

委員 定住促進についての施策がないと人口減を食い止められない。温泉観光を推進しているが、自然を活かした体験型観光によって移住者を呼び込むべきではないか。

事務局 第二次総合振興計画において定住促進に関する項目を新規に設けている。また、まち・ひと・しごと総合戦略等で定住促進に向けた様々な事業を計画し、展開している。

委員 人を呼び込む施策だけでなく、流出を防ぐ方策も検討されたい。

事務局 県外へ出た大学生のUターン率は4割程度にとどまっている。地元企業への関心を高め、地元就職してもらうために、ハローワークとタイアップしてPRしている。

委員 公共施設の改修を行うべきである。

事務局 公共施設等総合管理計画に基づき、改修・再配置を検討している。

委員 H E E C E 構想について触れられていないが、どうなったのか。

事務局 今回から、行政評価と行政改革の役割分担を明確にするため、具体的な事業の評価については行政評価で行い、行政改革では行財政の改善を行うというように棲み分けを行った。

委員 退職していく職員の持っているノウハウを若手職員に伝授してほしい。

事務局 熟練職員の知識を継承するシステムづくりが重要である。

委員 仕事の分担をするなどして、職員の残業を減らす努力をされたい。

事務局 第3次計画に時間外勤務の削減についての記載を検討している。

委員 Uターンで奨学金を免除するなど、思い切った政策が必要なのではないか。

事務局 近年、大野市がそのような制度を設けたため、今後実施効果などを見極めていきたい。ただし、給付に特化してしまうと行政運営が立ち行かなくなることもあるため、兼ね合いを見ながら検討していきたい。

会長 総合振興計画、総合戦略、公共施設管理計画など、さまざまな計画がある中で、行政改革大綱の位置づけについて分かる資料があるとより議論がしやすかったように思う。

事務局 今後は資料をつける。

**事務局** 今後はパブリックコメントを実施し、市民から意見を募集する。これらの意見や、本会議で頂いた意見を取りまとめ、配布する。また、3月末までに実施計画を作成する。長時間に渡る議論にお礼を申し上げる。以上で本年度の委員会を終了する。

(12:00閉会)